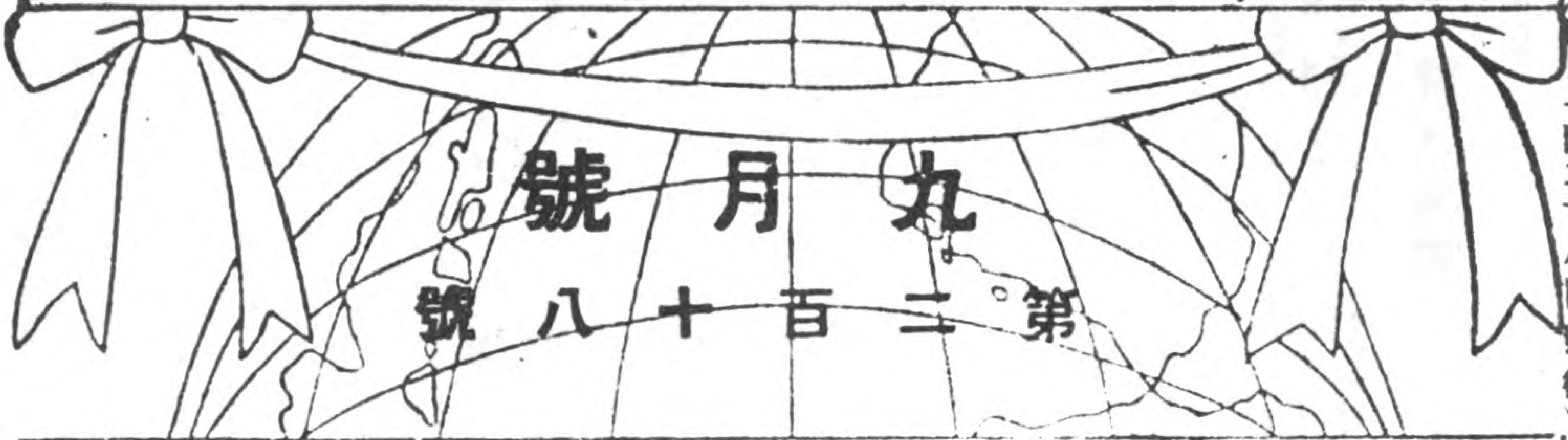
明治四十一年六月二十五日第三種郵便物認可
大正四年八月廿八日發行（毎月一回二十八日發行）

婦人新報



九月號

第二百十八號

婦人新報第二百十八號目次

丹後より　矢島楫子
御大典記念事業につき問はれたるに答ふ　林歌子
安息の義務　武本喜代識
富士山麓に在りて　廣岡淺子
天洋丸と春洋丸　守屋東子
やんちや子の矯正　望月くに子
幼兒の片言　久留島武彥
兒童の遊園　野口幽香子
老樂師　安中花子
そゞろありきて　飯田孝子
米國より　堀内清
はたらき
再び文部省を訪ふて　教育課副課長
益富氏の關西行　記者
各地通信
筑前若松、札幌、下ノ關、長崎、決議文につきて、
編輯室より　エー、エム

基督教婦人矯風會

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫　吉岡彌生

△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵税共）
一部（前金）　金六錢
六冊（前金）　金三十五錢
十二冊（前金）　金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料
一行（五號活字）　金十錢

編輯及事務所　赤坂區溜池町三番地　婦人矯風會事務所　電話新橋一〇三六

大正四年八月廿六日印刷
大正四年八月廿八日發行
發行兼印刷人　矢島楫子
編輯人　高原華
發行所　東京赤坂區溜池町三番地　婦人矯風會事務所　婦人新報社
印刷所　東京神田鎌倉河岸　丸利印刷所

No. 218. JULY, 1915.

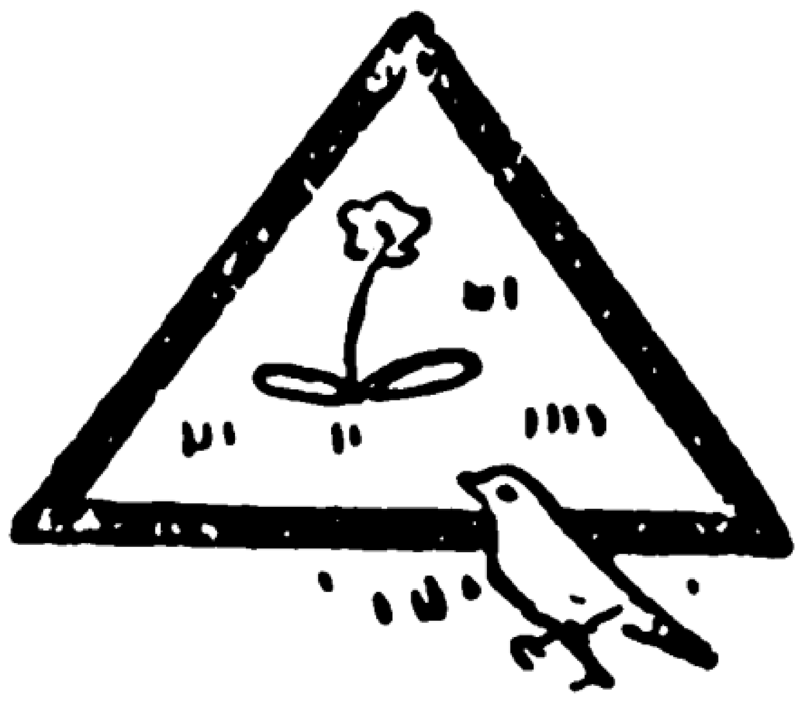
WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

A letter from Tango..........................Madam Yajima.
Reply to the Inquiries made Concerning the Coronation Work.......... ...Miss Uta Hayashi.
The Duty in the Sabbath........ ....Rev. K. Takemoto.
At the Foot of mt. Fuji....................Madam Hirooka.
Tenyo Maru and Shunyo Maru.. Miss Azuma Moriya.
Montaignism and Child Education.. Mrs. Kuni Mochizuki.
Baby-talk and Child Education... .. Mr. T. Kurushima.
A Suitable Play-Ground with Every Kindergarten.. Miss Yuka Noguchi.
The Master's Violin..... ....Miss Hana Annaka.
Leisure Wanderings...........................Miss Kō Iida.
News from America........................ Mr. K. Horiuchi
Activities;—
Another Interview with the Authorities of the Educational Department..........................Miss Iida.
Mr. Masutomi's Trip to the West..........Contributor.
Reports;—
Wakamatsu. Sapporo. Shimonoseki. Nagasaki.
A Message from the Editorial Room.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



丹後より

矢島揖子

會頭は避暑といふ名目の下に、二人のお孫様を連れて丹後峯山の谷口姉の求めに應じ、同處に旅立たれました。旅先より眼鏡なしの御自筆にて此の手紙を編者に寄せられました。炎暑さの折柄、老體なかくまで用ひらるゝも、凡て主の命と信じてこそと此處に社說に代へて、諸姉に御披露することゝ致しました(編者)

去る十二日午前五時二十分に、丹後峰山の旅館を引き拂ひ(自動車にて)七時二十分には所謂天の橋立に到着一番に仰ぎ見しは、兼ねて承はり及びし故神鞭氏のいさほしの建物にして、それを左に見て、直ぐに松原淸き天橋の木蔭涼しく、長く、一里と稱ふる一筋道左右は海水のいとすめる廣々としたるながめ妙なる中を靜かに歩み、都の友ともならばとのみ心にひめてもの足らぬ心地いたし、いつ歩むとも知らぬ中に、山の麓なる茶屋に着き、子供(記者云ふ伴ひ給ひし令孫達)は勇みすゝみ、案内として迎へに出でられし井伊牧師(組合敎會此の方が谷口姉とともに發起せられたる元勳者に候)と共に山登りを企て候。私は同行を辭退して、彼の茶屋に一と眠りを貪り、惜しき景色を管崎に辿り、今宵の集會の爲に安息の時といたし候。船に乘り候に風無ければキュー〳〵と櫓音を立てゝ、一時間許りにて、この度は天橋の廻りを一廻りし、今宿泊し居る山嘉樓の庭前に着船、この處は見渡す限り山に取り卷かれたる入江にして、いと穩かなる海面、心靜かに休養いたすに何の差支へもないやうなれども、隣座敷には遊客の例の通りの始末にて、なまめかしき女

は夜となく日となく出入いたし候へ共、今の世界に在らん限り、この煩はしさを逸かるゝことは出來ないものと思ひ諦らめて、自分として一室を占め居る間は、自分の自由にして決して此處に攻め入らるゝ心遣ひのなきを幸に感謝して居り候。

○

當方にては私ども到着の夜、即ち二十一日水曜の夜に宮津婦人會の催しにて町役場の樓上に大集會を開き候。其の夜は井伊牧師の家にて信者諸兄姉の集りあり昨夜はまた毎月の祈り會あり、近傍の信徒櫻井某とて一家擧つて信者なりといふ家に列席、修養いたし候。今明日は舊式の盆會にて萬事を休む日、おかげにて私も休ませてもらう筈、而して十六日より舞鶴の方に參ることに豫て準備中なればそちらへ參り申候はゞ、何事か後日の捨石に相成り申すべきかと感謝いたし居候。

○

峰山の方は豫て谷口姉の準備あり、ことに同家は醫業にて一家皆信者にて、割合に土地の信用も厚ければ誠に好都合にて、參峰第一着に當地第一の建設ものといふも可なるべき峰山小學校長中西氏の計らひにて、もよりの校長若しくは教育者の爲めに、東京の土産話をせよとの事に、恰もよしと印刷物を十五六枚持參せしを幸に、思ふ儘を話し、國家的に教育者の自覺の必要を語り申候。其の朝は婦人會、翌日は學校生徒(高等生の爲)その翌日は女學校の爲、翌日は婦人會の爲に話し申候。此の日には三谷民子姉來訪應援してもらひ大助かりいたし候。其の後一里許りの處に神戶といふ機業の盛んなる處の小學教員某氏の案内に應じ、中西校長と共に參り、時機失ふべからずと出來得る限りのことをつとめ申候。或は機業試驗場に參觀を求め工女等にも接する好機會を得候其次に神戶教會の牧師米澤氏は伊藤牧師と御同行、特別傳道の爲參峯いたされ候。有志男女の集會にも參り候處、兩牧師の靈性上に就て、若しくは國土に就て、大々的の問題の下に熱誠當るべからざる雄辯も、つまり矯風事業の必要と

申す譯に歸着せしものなりし故、私は呆氣にとられてもう何も云ふべき必要が無くなり申候。こんな事は婦風會を起してから、否生れてから初めての經驗に候。そこで時刻も十二時に近いので、一寸だけ御挨拶をして、御免を蒙りしは、實に有難きこと、先には三谷姉の助けあり、今またかゝる保護を蒙り、峯山行きの成功の偲ばれて感謝、さしむき一命も助かつた次第に候

○

夫れから兩牧師は爰より二里程離れたる土地に網野といふ機業盛んなる處、又竹野郡島津町の足立といふ家にも私は居殘つて、婦人會又は工女のすゝめ等の求によりて、毎度もてはやされ申候。たまさかの巡遊の事とて、少し見物の必要もあればと、尚一日を滯網し、小濵といふ名は小濵なれど、海づらは向ふ遥かに浦鹽の方面、限りもなき大海に接し、岸打つ波の音高く、濵の砂原は悉く研かれて、一と足を蹈む毎に、音樂のひゞきある處、こゝを琴弾き濵と云ひ、又すゞ濵とも申し候。かれこれ致すうち、峰山の方には新婦風會組織の人員も、精々よりに選りあげたる夫人二十名にて、私の歸峰を待ち、又宮津、舞鶴にも云々と、電話に手紙にきびしくかけ合ひあるによりて、九日には再び峰山に參り、翌日組織の集會をして、その翌二十一日に峰山を引拂ひ申候。會員の顔ぶれは町長夫人、學校長夫人、病院長夫人、實業界の有力者のかた〴〵、産婆、禁酒會員夫人、小學校教員、休職軍人等土地のあらゆる有力の方々にして、人數少なしとはいへ、中々に押しも押されもせぬ動かすべからざる者にして、神の御祐助のもとに發達を懇願いたし申候。何卒右樣思召願上候。同時に將來怠りなく相はげみ申度、小妹の爲尚御祈りを願上候。子供相手の旅行故、御通知も不行届前後御ゆるし下され度候。

（宮津の宿にて八月十四日）

御大典記念事業につき
問はれたるに答ふ

大阪婦人矯風會　林　歌　子

去る四月一日京都に於て開催せられたる婦人矯風會第二十三回大會の決議文は各新聞にも紹介されましたが、京都佐々木氏の如く、開書をもて質問を下された方もありますから、此の好機を以て、私共の主張を闡述いたしたいと思ひます。私は此の機を與へられた事をいとも光榮と存じます。

△森嚴なる御大典

婦人矯風會決議文の其の一は「御大典奉祝のため催さるゝ公開の席上に、賤業婦を侍せしめざるは勿論、其の他凡て風俗を紊亂する行動は、嚴重に之れを取締られん事を、其の筋に請願する事」と云ふのでありました。其の趣意は、藝妓を全廢せよといふのではありません。御大典奉祝の公開の席上に、賤業婦を侍せしめざる樣にとの事であります。申す迄もなく、前古未曾有の御盛典で、列國環視の其の中に擧行あらせらるるいとも森嚴なる御式でありますれば、國民をして一層敬神愛國敬虔の念に進ましめ、大正國民たるの自覺を增進せしめ、且つ私共の後繼者たる兒童にも、後年忘れ難き好印象を與ふべき實地教育の大切なる好機でありますから、奉祝のために催さるゝ凡ての公開の席も亦極めて嚴かなるべき事と存じます。

もしも然らずして、此の大切なる國家の御大典を辨へず、腕によりかけて、一擲千金を夢み、外國貴賓の前をも憚らず、彼の「吉原花魁道中」の如き醜行を演ずるが如き事これありては、取かへしのつかざる千歳の遺憾と存じまして、其の取締を嚴重にせられん事を此の際其の筋に請願致さんと決議致しました次第であ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ります。殊に今回の御大典に　天皇陛下と相並んで皇后陛下の高御座を備へさせ給ふ有り難き聖旨は、日本婦人の自覺と責任を感ずるの念を深からしめ給ふ聖恩の深き、實に感謝に溢るゝ次第であります。

△賤業婦とは藝妓なり

決議文の賤業婦とは何かと申せば、藝妓の事であります。藝妓が果して唯「杯盤の間を斡旋し、又絃歌舞踏して酒興を助くるを業とする女」でありませうか。市中目貫きの場所に住居し、外出の自由を有し、何れの場所にも出入する事が出來ます。藝妓全盛時代とも申すべき裏面は、早稲田大學教授平沼氏の「藝妓亡國論」の言を借りて云はゞ「藝妓の跋扈は害蟲の如く健全なる分子を滅殺し、以て國家衰亡の端を開く」と。げに幾多の青年は藝妓の爲に身を誤り、幾多の紳士は藝妓の爲に産を破り、業を失ひ、破壞されたる寂しき家庭に、人知れぬ暗涙にくるゝ妻たり、母たる婦人の多き事よ。これ藝妓の罪にあらずして、男子の伴侶たる婦人が自覺の足らざると、男子の敬愛を受くるに足るべき品性の修養につとめず、殊に交際場裏に立ち廻る技倆の乏しきに乘ずる男子の專横と、社會の缺陷を表示するものであります。何卒社會の制裁を嚴重にし輿論を深め、一夫一婦の大道を明らかにし、暖き家庭と、眞の紳士淑女を作らんことは、妻たり、母たる私共の日夜の祈禱であります。藝妓の狀態が如何なるものであるかは、茲に私の申す迄もなく、萬人の知悉する所であります。

△可憐なる奴隸

決議文の第二は「精神的記念運動として、今後六年を期して、公娼を全廢する事」であります。明治四十四年四月九日吉原全燒を記念として生れ出でたる雜誌「廓清」により、諸先輩專門家の學理的研究、及び人道、風教、教育、衛生等の實地研究によりて教へられて、私共の信念は益々固く、一點の疑ひもなく、怖れもなく、斷然立ちて公娼全廢を絶叫致します。其の理由

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を順を追ふて簡短に申述べて見ますれば、明治五年十月太政官布告を以て、人身賣買を禁ぜられ、明治三十三年十月自由廢業は法律によりて許されたるも、無智なる娼妓は之れを知らず、昔ながらの人身賣買は行はれ、全國五萬の公娼は猿轡を嵌められ、前借金と云ふ粗繩を以て其の兩手を縛ばられ、男子の獸慾に侮辱さるゝ一種の奴隷が、檻の中に監禁されて、貞操賣買といふ一種の營業を全國四千餘人の貸座敷業者に公許され、吉原張見世の如きは、實に動物園の如く、可憐なる私共の姉妹を、男子不品行公許の犠牲に供して居ります。斯る非道が大正の御代にあるべき事かと、坐ろ涙にくるゝのであります。外國婦人が名所見物の積りにて、時々吉原に導かれ、此の實況を見て、身を慄はして泣くと云ふことであります。

△教育の破壞者

我が大阪市の如き、市中の各處に散在する遊廓は、大厦高樓、軒を並らべて居ります。地中に深く埋沒して置くべき下水を街上に噴水汎濫せしめ、惡臭紛々たる黴菌を公然撒き散らす如き惡制度を公許し、大切なる兒童、或は誘惑に陷り易き青年の目より耳より、不知不識の間に、淫靡の風を浸染させて居る、其の結果を思ふ時は、實に身の毛のよだつ樣なる心地が致します。加藤弘之博士も、女子教育と公娼とは大なる矛盾であると痛論され、今日の如く公娼を置きて、一方女子に貞操の生命なるを教ふるは、何の役にも立たぬことであると、手強き警告を教育家に與へられて居ります。

子女の教育に熱中する父母、また社會改良、慈善救濟等に心を寄せらるゝ人等が、教育の根柢を破壞しいる青年男女を誘惑に導く其の本源に注目されて、枝葉を刈るよりも、其の根本に斧を置かれんことを切に望みます。

△公娼と衛生

公娼廢止に反對の説を稱ふる人は、異口皆等しく、

公娼は避病院の如く、檢黴によりて耻づべき病氣の蔓延を防ぐと申すのでありますが、京都大學教授松浦醫學博士は、公娼制度を一瓶の昇汞水を以て、太平洋を消毒せんとするが如しとて、檢黴の無効を說かれて居ります。又一昨年頃の大阪每日新聞にも、耻づべき病氣傳染は、公娼其の大部分を占むる詳しき表を見たことがあります。その明白なる證明としては、廢娼を實行せる縣は、耻づべき花柳病の少きを以ても知ることが出來ます。左に明治四十四年壯丁一千人につき調査したる陸軍徴兵檢査表を掲げます。

全國唯一の廢娼縣	群馬縣十五人三分五厘
殆んど廢娼に近き	神奈川縣十五人九分七厘
關西に於て殆んど廢娼に近き	和歌山縣十八人一分二厘
京都府三十三人八分八厘	東京府三十七人三分五厘
大阪府三十七人九分五厘	德島縣四十七人四分二厘
高知縣四十九人二分一厘	愛媛縣六十三人三分六厘

全國の中四國は最も花柳病が多いのであります。群馬縣は滿二十二年前に公娼廢止を斷行致しましたが、其の結果は風紀、教育に、多大の效果を擧げ、其の他公娼の少き縣が、耻づべき病氣少く、衞生上にも良好なる結果があるのを見ますのは、公娼が無つたならば耻づべき病氣が社會に瀰蔓するといふ說は、全く何等の根據なき謬說にて、却つて公娼の設けなき地方が耻づべき病氣も少いのであります。

△公娼と私娼の關係

公娼を廢止する時は、私娼自ら跋扈して、爲めに良家の子女も安き心はあらざるべしとは、一般の杞憂でありますが、事實は之れに正反對にて、上州伊香保の如きは、十一軒の貸座敷を率先して廢止しましたが、之れに代る私娼も別段に起らず、溫泉場として繁榮を來して居ります。之れに反して紀州新宮の如きは、公娼を置いて、却つて私娼を增加し、夜間戶を閉づることなかりし新宮の、風俗頽廢して、番頭も子僧も良家の息子も、放蕩者となり、今更ら非常に困難して居るとは、和歌山縣廳にて親しく伺ひました。公娼のある處に私娼の跋扈するのは、丁度吉原の近傍、千束町に於ける樣なものと存じます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△多年の惡習慣より醒めよ

私共の主張は、法律を以て公娼を廢し、天下晴れての賣淫營業を絶滅し、賣淫を以て罪惡と見做す迄に、社會の制裁を嚴かになし、人心をひきしめたいと願ふのであります。私娼の絶えざる事は、世に盗賊の絶えざる如く、公娼に幾倍の私娼はいつもある事ながら、公娼を廢止せば「唇亡びて歯寒き」習ひにて、自然に私娼の跋扈も衰え、風教を進むる事が出來ると信じます。

戰爭の場合とは申しながら、露國は斷然全國に禁酒令を布き、英國皇室また禁酒の範を垂れ給ひ、米國は數十萬の矯風會員が結束して立ち、禁酒法案の旗をふりかざして、根氣よく米國全土を酒の毒手より救ひ出さんと奮闘し、今や十八州は全く禁酒州となり、今より六年後、一千九百二十年を期して、全米國を禁酒國となさんと意氣込んで居ります。私共の六年を期したるは、貸座敷業者が娼妓に前借金を取引致しますに、其の契約は大抵六年といふ事に定まりて居りますので今より着手すれば六年後には全然廢止することが出來ると思ふのであります。

此の公娼問題は、唯多年の習慣が、日本國民の心を痲痺せしめ、延いて海外醜業婦の出稼ぎとなり、國辱を招き、國交を害する樣になるのも、畢竟國内に大びらなる公娼制度の公認さるゝ爲で、所謂源濁りて末濁からぬ處より起れる事であります。

切に願はくば萬古未聞の盛世に際し、私共の主張に御一考を與へられんことを、天下の志士仁人に對して所望する次第であります。

横須賀大津勝男館で開かれた女子青年會の夏季修養會では、決議文運動の費用として日曜日の獻金拾壹圓貳拾五錢也を寄附して下さいました。まだうら若き姉妹等の集會に於て、決議文の内容が説明せられ、清められたクリスチャンが、ごうしても世の高潔の人士と共に手をたづさへて我國の惡風を廓清すべき必要を、頭腦に止められたといふことは、非常に喜ばしい事であろと思ます。細かくして築別された金子を、此事の爲に凡て捧げられた事は感謝にあまりある事であります。心より同會の方々に御禮をいたします。

決議文の印刷御入用の方は御申越し下さい喜んで御送り致します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

安息の義務

武本喜代藏

△イスラエルの安息の掟

創世記二章に「神七日を祝して之を神聖めたまへりそは神其創造爲たまへる工を盡く竣て、是日に安息みたまへり」とあります。神には安息なく不斷に働らき給ふが、また神は不斷に安息し給ふのであります。神が安息したまへば、その統御の下にあるこの天地ははたと運轉が止りはしなからうか、何故に神に休みが必要とされたのであらうかと云へば、これは畢竟人間に勞働と安息とは、等しく必要であり、また義務であるといふ事を敎へ給はん爲めであります。モーセがシナイ山に於てイスラエル人に十誡を授けられた時も「安息日を忘れずしてこれを聖日とせよ」とて、この日を守る事に重きを置き、神聖犯すべからざる天來の制として定めました。それ故安息日には薪を割り、粗朶を負ふても石で打殺すといふ掟でありました。安息日に就て、かゝる嚴重な考へを持つたのは、イスラエル人の外にはありません。他の國民の間には、往々働らかぬ者、横着な人を罰する掟を見るが、安息せずして罰せらるゝ掟はありません。イスラエル人は眞によく休む人は、また眞によく働らく人としたのであります。

△エスによつて安息日變る

安息日の精神はまた博愛の精神であります。十誡にもある通り「子、女、僕、婢女、畜及び門内にある旅人をも然せよ」とあり、牛馬も奴隷も甚だしきは七年

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目毎には田畑一切の耕作を止めて、土地にも安息させる掟がありました。これ等は人間を始め、自然物に至る迄絶えず働らき續ける時は、遂に活動力を削ぐので賢い方法では無いとして、安息の必要を極端に奬勵したものであります。然し何れの制度でも精神が拔けては、却つて有害のものになつて終ひます。キリストの時代に於ては、もはやイスラエルの安息の掟は全く初めの精神を失つて、人々はこれあるが爲めに手も足も出でずして寧ろ重荷になりました。一と度エス出で丶、この重荷なる安息日を一變して、もとの精神ある日として、聖日として善を爲し、人を救ひ、神に仕へる日と致しました。唯昔は安息日は一週の最終日の土曜でありましたが、キリストによつて日曜に變りました。基督者は初めは土曜を習慣上の安息日として守り、日曜日は主エスの復活し給ふた日として、その朝禮拜する爲めに休みましたが、基督教が次第に異邦に傳はるに至つて、土曜の安息日を忘れ、日曜日がこれに代るに至りました。

△安息を知らぬ今日の人

モーセがさほどに安息日を嚴守した時代は如何といふに、所謂パレスチナの山高く水淸らかなる山國生活で、且つ生存競爭も無く、人々は簡易生活に甘んじて居つた時代であります。か丶る時代にさへ安息を强行されたのであります。今日私共の生活は心身を勞すること甚だしく、日一日と生活上の奮闘力を要する時に當り、また今日の如く安息日を無視することの甚だしきはありません。煤烟に空が曇り、機械の音が耳朶を騷がす時代に安息を怠つたならば、果して個人としても國民としても、最後の勝利者となり得べきでせうか。人間の體力にも限りがあるが、心力には猶更らに限りがあります。今日の早老夭死する人が多いのはその心火の早く燃え盡して、なほ生存の餘力が無くなつた者が多いのではありますまいか。我々は常に心身の休息を計り、新らしき元氣を蓄へつ丶進まなければ到底永く有用な生活を續ける事は出來ませぬ。尤もこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ういふ事を云ふ人があります。同じ働らき續けるにしても、仕事を轉換すればその疲勞を救ふことが出來ると。グラッドストンの如き、文學、數學、法律等の書物を机上に置いて、一方を讀んで疲れたら他方に移ると更らに新らしい氣分になつて勉强する事が出來るか、やうにすれば休む必要はないと云はれて居る。これも確かに一つの方法には違ひないが、我々が試みてはいつ迄もこの方法で押し通せば終に疲勞します。又故ゼエムス教授が主張した如く、心理學上より云へる疲勞とは、心の或る點に達する迄のことで、その峠を越えれば勃然としてまた更らに元氣が湧くものであるといふことは、一と度は私共も福音と思ふてこの說を實行して見ました。然しこれも程度問題で、氣の立つた或る時日は堪へらるゝかも知れぬが、年中さうしたら必ず身體が疲れるのであります。

△神によれる安息

今日我々はどうしてもイスラエルの昔の精神に歸り安息の義務を守り、これを主張しなければなりませぬ然し安息するといふ事が、別莊に行くとか山に行くとかして出來るものではなく、眞實の安息は宗教的になつて初めて味はれるものであります。閑靜の地に轉地し、若くは娛樂を取ることもまた安息の一方法には違ひないが、これ等は丁度鹽風呂に入つて、寸時の回復を樂しむが如くであります。私共の疲勞を取つて、眞に健康を增進せしむる者は大海の鹽水に浸つた時にあるが如く、精神界に於ても宇宙の根源なる神に接してその重荷を下ろし、安然として父の懷に抱かれて初めて眞の安息が出來るのであります。それで一身上の大事件が起つて、夜も眠られぬといふ場合も安息日が來たらば、凡てを神に任せて安息しなければなりません。それには教會に行く事が、一番よろしいことで、平生は家事や商業に忙しい人も、會堂に行つて、靜かに俗事に遠ざかつて神に接觸することを務めれば、自然世の煩瑣を忘れて安息が出來るのであります。今から二十年前私が初めて基督者になつた當時は、日曜

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を守ることが嚴重で受洗の第一要件として日曜を守ることを約束したものであります。日曜には新聞を讀んでも不可ない湯に入つても罪だといふ風にし、商人は背店を閉ぢたものであります。この極端な風習に反抗的になつた結果、その後信者は日曜といふ事さへ忘る者あり、敎會にも「用事がある」とて出席する者が尠くなりました。近來はぼつ／＼また後と戻りをして安息日を守らなければ、基督敎徒の生活を完うすることが出來ないとして、昔の如く頑固な偏狹な守り方をしないでも、精神的にこの日を神に仕へる聖日として守ることを鼓吹するやうになつたのは、喜ばしい傾向であります。

△聖日を守るは基督者の命

昔羅馬の基督敎徒が、非常に迫害された時、もし信徒等が日曜を嚴守し、敎會に集まらなくてもよければあれ程迄に時人の注意を惹かず、隨つて迫害を受ける事はなかつたでありませうが、熱誠燃ゆるが如き彼れ等の信仰は、如何なる辛酸を嘗めても、聖日の禮拜を怠らなかつたのであります。それ故或時の如きは信徒の集つて居る家の周圍に薪を積んで、これを火攻めにした事等もあるのであります。然しかやうな事にも避易せず、その信仰を愈々強めた爲に、遂に羅馬帝國をも征す偉大なる力が出來たのであります。今日の信徒が、客があつたから御馳走しなければならぬ位で、安息日を破るやうでは、到底日本國民を動かして、その精神生活を一新すること等は出來ません。私の敎會に於ては、今後受洗希望者の諮問式に於ては、「聖日を守るか否か」と云ふことを第一にしたいと思ひます。實際基督敎に日曜制度がなければ、決して今日のやうな勢力にはならず、其の精神は歳月と共にいつしか消えて行つたかも知れませぬ。お互はどうか安息の義務を喜んで守つて參りたいものであります。

凡て勞れたる者、また重を負ふ者は我に來れ。我爾曹を息ません。我は心柔和にして謙遜者なれば、我軛を負て我に學べ、なんぢら心に平安を獲べし。蓋わが軛は易く、わが荷は輕ければなり。

——馬太十一〇二八、三〇——

富士山麓に在りて

廣岡淺子

△今年は富岳見えず

今年で三年間續いて、富士山麓の高原二の岡に暑を避けましたが、今年程不思議に富士が姿を見せない年はありません。めづらしく朝まだき薄絹に包まれたやうに山の姿がほんのりと現はれ、やがて霧が晴れてはつきりと其の優麗な姿を現はすのであらうと思ふと、次第々々に密雲に閉されて終ふ。麓の方は赫々と日が輝いて居る日でも、富嶽はさながら何處にあるかと云ふやうに、一面に雲が覆ふて居ります。かくして八月に入つてからは月餘を過る頃迄に、僅かに二三回現はれた計りであります。そして夕暮になると殆ど毎日のやうに黒雲が一方から襲ふて來るかと思ふと、忽ち一天かき曇つて、篠突くやうな雨が降ります。

△天は何をか語る

かやうな自然の現象を輕々に看過する事は出來ませぬ。こは必ず天が何等か私共に語り給ふ徴候ではありませぬか。今や恰も歐洲の戰亂に際して居ります。主を忘れたる國民は、恰もこの黒雲の如く跋扈して、物質の慾を逞くし、同胞相食むの狀を呈して居ります遠き外國に斯の如き現象がある計りでなく近く我が國の內情を見まして、人々は將に來るべき世界的大騷亂の後、我が國が如何なる使命を負ひ、責任を帶びなければならぬかを考へず、政界に於ては徒らに權力の爭ひあり、高位顯官にして、私慾に迷ふて其の職を辱かしむる者、續々として現はれて居ります。其の他實業界に於ても、學問界に於ても、著實の氣風なく、單に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私財を積み、若しくは名譽を思ふのみにして、眞に國家、人類を愛して、この爲めに働らく人が乏しいのであります。更らに靈界の有樣は如何と見れば、國民全體は、恰も牧ふ者なき迷へる羊の如き有樣であります而して國家の將來を雙肩に擔へる青年男女は、徒らに煩悶し、或は墮落の淵に沈まんとして居ります。人の死活の權を握る者は政治にあらず、實業、學問にあらず、靈性を司る宗教にあります。而して今日の我が國社會は、その宗教の力も萎微して振はないと云はなければなりません。

△基督の叫び

二千年前エスがユダヤの國に叫び給ひし聲は何でありましたでせうか。一日イスライル人が神の宮として尊崇して措かざるエルサレムの殿堂に至り、罪の贖ひをして彼れ等が捧ぐる物の爲に、鳩や兌銀者が店を並らべて居るのを見給ふて、イエスは突如として繩の鞭を擧げ、それ等の店を倒し「我室は萬國の人の祈禱の室と稱へらるべしと錄されたるに非や、然るに爾曹は之を盜賊の巢と爲り」と叫ばれました。また當時のパリサイ人が神に仕へると稱して、往々宗教の形骸を時人に強いて、却つて其の道を誤まらしむるものあるを見て「瞽は瞽の相者をなし得るや、相共に溝壑に陷らざらんや」と云つて居られます。之れ等は何れも當時の宗教が形式に流れ、その精神の地に墜ちたるを見て嘆せられ、之れを一轉化せしむる必要を思ひ、且つ其の指導者をして立派な人格を持つ者の出んことを希はれたのであります。然るに今日の基督教は往々形式に流れて本來の生命を失はんとして居ります。隨つて人心の腐敗墮落を廓清する偉大なる力が現はれぬのは誠に殘念の極みと云はなければなりません。

△基督者の使命

かく地上のさま〴〵の事を思ふ時には、恰かも富士が世を見るに堪へぬがほに常にその姿を雲に隱して居るやうに、私共も超然と世を離れて、獨りわが行く道

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を樂しみ度い樣な氣が致します。然しながら密雲閉す彼方には、千古變らぬ富士の姿が、靑天に聳えて居るといふことを信じて希望を持つことが出來るやうに、暗澹たるこの社會にも、神の聖國の臨る事ある望みを抱いて、私共は絶えず靈界の勇者として起つ使命を覺らなければなりません。それには一人一人の國民が先づ惡より救はれ、聖靈に充たされたる純潔な人間となり、その個人より家庭に及ぼし、家庭はまた社會に及ぼして、安全なる國家となる事が出來るので、國家をかやうにするのもせぬのも、一つに我々基督者の働き如何によるのであります。

△靑年男女に望む

私は特に國家の將來を擔ふ靑年男女に願ひ度いのであります。試驗の難關を越えて、首尾能く學士や博士の名譽を擔ふも能く、或は財界の覇權を握つて、巨萬の富を作るもよくあります。然しながら「もし人全世界を得とも、其生命を失はゞ、何の益あらん乎。」と主エス、キリストの宣ふた如くに、生命なる精神を失はば、いかに學問の奧義は究めても、事業に成功しても人間の尊さを失つた機械の樣なもので、かやうな人々は智識あるが故に、富あるが故に、自分をも、他人をも傷つくるのであります。周圍の人はいかに嘲笑しやうとも、人間としての修養を先づ心掛けたものが、たとへ成績は遲々として居つても、最後の勝利者であるといふ自信を以て勉强して頂きたいのであります。更らに學士、博士、若くは政界、實業界の覇權者たらんことに憧憬する如く、若き靑年男女諸子が靈界の覇者を以て任じて起ち、この罪に染んだ社會を救はうとの大望心を抱く愉快なる人々の、續々現はれ來るやうにと望んで止まぬのであります。

折にふれて　　廣岡淺子

神います思ひこそすれ富士のねの
　高き姿を心ともかな

聖書

奧深き文の林にわけ入りて
　永遠の命の道を知りけり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天洋丸と春洋丸

守屋東子

口七月十日横濱の波止場にエリス姉を及海老名夫人を御送りしました。御承知の通りエリス姉は議事法研究課長として此三年間熱心に御つくし下さつた方です。横濱婦人矯風會を代表して二宮わか子姉は炎天を犯してお出下さいました。エリス姉は此事を非常に感謝してお居てゞした。海老名夫人は米國加州の邦人の團體より招聘されて、夫君海老名牧師と御渡米必ず在米邦人の婦人達に大なる感化を殘して歸らるゝ事と信じまた祈つてお送りしました。

此日の船は天洋丸と云ふて、東洋汽船第一の美しきもの、また船客も紳士淑女で食堂などは見事な花籠でどの卓も一杯で御座いました。

特に私の心にかゝりましたのは、兼ねて京都支部が熱心に奔走されて出演の爲に渡米することを中止させるやうに運動された櫻踊の一行が其筋の許可を得て此船で出發することでありました。

此櫻踊をする娘さん達は、良家の子女であるといふので、渡航を許可されたので御座いますが、都下の新聞は早くも其人々が米國に渡つて後にとる日常生活の豫想までを記載いたしました處によりますと、私共が一番案じて居りました行爲をとる事が記されてありました。藝者ならば渡航を許可せずに良家の子女であるから許され、其結果は兩者同じものであるといふのは、全く表から見た處の制裁の生む悲しむべき出來事であると思ひました。三時出航の鐘と共にゆるぎ出ました船の甲板三層は全く小日本の縮圖、二層には宗教界を代表して桑港博に行かるゝ日置默禪師及海老名牧師夫妻、其中間に櫻踊の婦人等、三層には細帶かけの婦人髮も亂し、暑氣の時とはいへ胸もあらはに、送らるゝ悲しみをつゝみきれず泣きくづれて居るのです。其親か兄弟か送るものも更になく、唯二層一層の人々

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の花やかな賑はしい見送りをジッと涙の內から眺めて居る樣子は、見て居つても堪へられませんでした。私は思はず、「何といふ皮肉だらう」と友に申しました一つ上の甲板には第一流の宗教家の方々及紳士淑女、それに良家の子女といふ櫻踊の一行、三階を見ればどうしても「辱」と叫ばねばならぬやうな服裝した、私共の姉妹等無心の船は同じやうに靜かに乘せて行くのです。私は歸り道廓淸會の內ケ崎作三郎氏に「何とかせめてあの服裝丈でも取り締ることは出來ぬものでせうか」と申てお話をいたしました。

船每に斯うした苦しい思ひで見る事は堪へがたい事で御座います。會社の方へ交涉するとか、また水上警察の方へでも願ふのでせうが、兎に角港にある支部の姉妹方に御努力願たい事と思ひます。勿論東京に於ても出來る丈の事はいたします。

口八月七日、再び横濱埠頭に金森先生を送る爲春洋丸に。先生は救世軍の一兵士として救靈の爲に全力全心を捧げて御盡しになつて居られます。此度加州沿岸の兄弟から三ケ月間御迎へして、先生のお話を承はり度いといふ願を聞き入れられて行かるゝのであります。會頭も御留守、副會頭は御病中、其他の役員の方々も諸々へ御出掛中でしたから、私は一人できめて總代をつとめました。船に先生を送るまでに蓬萊屋の階上で熱心な送別の祈禱會を涙を以て了し、凡てを神の御手にゆだね奉りて先生を船に送りました。丁度梅ケ谷の相撲一行も乘船いたしましたので、其送人は非常なものでした。出帆と同時にマップ少將山室大佐を初め見送りの救世軍人及私共は聲をあげて讚美歌「またあふ日まで」を繰り返し〳〵歌ひました。數百の人々の萬歲よりも音律をふむ讚美歌は、遂に凡ての聲を越えて長く〳〵徐々と進む船上に流れて行きました。最後まで先生が船から翳て居られました血と火との救世軍旗は、遙かに陸を離れた後までも、明かに認められお姿は見えずなる迄も、猶お送りすることが出來ました。

保育の經驗より

記者

八月三日四日五日の三日間に亘り、東京女子高等師範學校内に於てフレーベル會主催の第一回全國幼稚園關係者大會が開かれました。折柄の炎暑を冒して、國内はおろか、遠く沖繩、朝鮮、支那等二百七十三ケ所の幼稚園並に數ケ所の小學校より五百數十名の出席者がありました。其の第三日目には、各幼稚園より提出の問題につき研究がありました。左に掲げた三氏の説は、「モンテッソリー敎育を保育上何れの程度迄用ふべきか」「保育上に幼語を用ふる可否」及び「幼稚園に於ける遊園の適當なる施設如何」と云ふ問ひに對し、其の經驗を參考として語られたものゝ概略で、幼兒敎育に從事する人は勿論、一般家庭の參考にもなる事と思はれます。

やんちや子の矯正

神戸幼稚園長　望月くに子

神戸幼稚園はモンテッソリー敎育主義を試みて、既に様々の經驗もあらうから、是非それを話すやうにとの事であります。私もモンテッソリー氏の敎育主義が發表された當時、及ばず乍ら研究致して見、また採用すべき點は、之れを實地に試みたのであります。そして私の憚りない意見を申し上げますれば、氏の説は目的論としてはフレーベル氏のものを學んだ私共に取つては、何物も新らしいものを與へないと考へます氏は全く方法論に於て私共を啓發せらるゝ處が多いと存じます。

方法論としても第一の體育に就ては、何等格別の新智識は與へて居りませぬ。私共の最も氏の方法によつて指導さるゝ所は第二の訓育に就てゝあります。氏は訓育上頻りに制限ある自由といふ事、賞罰なしの自由

と云ふ事を述べて居られます。幼兒を敎育する上に自由放任も、一つの制限を置くといふ事は極めて大切なことであります。また私共が自分の子を養育し、幼稚園兒を保育する上にも、始終「あゝしてはいけない」「こうしてはならない」と申して、兒童の行爲に罰を與へること多きと同時に、善い事をした場合には、有形無形の賞を與へてこれを勵ましたが、それよりも寧ろ賞罰は成るべく行はず、殊に罰は全然行はぬやうにして、保育者の不言實行で導き、幼兒自身に自省自決せしむるやうに仕向けること、所謂賞罰なしの自由による方が有效であるのであります。私共の幼稚園にこの方法を採用してから、いゝ、やんちやで困るといふお子さんが無いやうになりました。第三の智育に於ては、感覺敎育、殊に觸覺敎育に就て得る事が多いのは、何れの人も認むる處であります。また兒童の質問に對しては簡單明瞭に答へを與へる方が有效であるといふ事は、最も學んで益ある處でありました。

要するに何れの敎育主義でも、その精神を捉へず、形式の模倣をするのみであつたならば、常に失敗に終るものでありますが、殊にモンテツソリー氏の敎育主義は、西洋料理とか、日本料理とかいふ目的ではなく、いかにして美味に調理することが出來るかといふ方法でありますから、各自の兒童に對しては、その方法をその儘に用ふれば往々失敗に終ります。それ故わが兒童を如何にして最もよく保育する事が出來るかといふ方法の參考としてこれを用ふべきであると思ひます。

幼兒の片言

早蕨幼稚園長　久留島武彥

私がこの二日間幼稚園を留守にして居りますと、今日も出掛けに園兒が「先生一つも二つもどこに行つて居たの」と聞きます。一つも二つもと云ふのは、昨日も今日もと云ふことでありますが、この場合兒童の言葉を矯してやるよりは、寧ろ「先生は一つも二つも他所に行つてあなた方と一緒に居なかつたが、これから三つも四つも一緒に居つて遊んであげませうね」と云

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ方が正しい觀念と、溫かい情を傳へる事になります

保育上に幼語を用ふる可否は論ずる迄も無い事で、大人に於ても時と處を異にし、境遇、智識、經驗の範圍で、用語も自然異つて來るのであります。御婦人の間にはどうか知りませんが、男子の間には時々流行語があつて、片言のやうな云ひ方で、よく一般に通じるのであります。幼語も亦或る兒童に限られて使はれて居るのならいざ知らず、「おてゝ」「あんよ」などゝ云ふ兒童に通有の幼語ならば、却つて兒童の理解を助けこそすれ、弊害は伴はぬと思ひます。

今日の小學教育は何故に不徹底であるかと云ふに、讀本には一定の制限ある言語を教へながら、教師の用語は數限りのない事が、或は兒童の理解を阻害して居るのではありますまいか。昨日も巖谷小波氏と語つたのでありますが、「羅生門の綱が鬼退治に行つて來い」と云はれ「ハイ」と云つて起つたと云ふのでは、一向力が入らない、この場合は「かしこまりました」でなければならないが、扨「かしこまりました」と云ふ言葉は、今日の通用語ではなく、從つて兒童等には耳遠いので、理解し難いと云つたやうに、日本語には用語の困難が著しくあります。然しながら成る丈け兒童の智識、經驗の範圍に適合した用語を選ぶやうにする心掛けがあつたならば、その教育は一層有效のものになりませう。

兒童の遊園

學習院附屬幼稚園主任　野口幽香子

先年私共の幼稚園は不幸にして火災に罹り、昨今改築の設計をして居るので、種々遊園に就て考へて居ります。若し都會の幼稚園に遊園を設けるとしたら、何を標準とすべきかと云ふに、私は田舍の天然界が最も理想的のものと思ひます。それには先づ第一山を作らなければなりません。その山には石燈籠や植木等の技巧的のものを避けて、只草をぼう／＼と生やした極めて不得要領のものとし、子供の上つたり下りたり滑つたりするに適するものとしたいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

次には池を掘らなければなりません。それも二ついります。一つは目高が孵へり、鯉が住み、蜻蛉が生れるやうなもので、もし子供が落ちたら溺れる位の大きなものが欲しいのです。も一つは子供が洗足で入れる位の淺さで、玩具の軍艦を浮べ、睡蓮、燕子花等の水草も咲くやうにしたいのです。次には運動場の地面として二種類欲しうございます。一つは草原で、クローバーや蓮華草が咲いて、子供が自分のものどして自由に摘むことが出來るもの、一つは小さい砂利を敷いて東京のやうな泥濘の地でも、雨後直ぐにさらつとなる樣に、も一つは私の大好きな土の場所です。土の軟みや、彈力や、摩擦の工合など、何とも云へぬ心地よさで、その上子供等がふとこぼした藤豆や豌豆が生えるその土の場所がほしいのです。

花壇は勿論作らなければなりません。私の幼稚園の花壇には、自分の家からせつせと種子を運んで來たので、出來上つて見るとわれもこう、藤袴など、まるで寡婦さんのやうな淡いものになつて終ひました。幼稚園の庭はどこ迄も子供本位にして、ダリヤ、ハイヤシンスなど幼い花を植ゑ、子供自身に培養させるのですこの外野菜の畑や果樹園があつて、實つたものを一緒に味ふなんども興深いとです。此處に出來るならば動物―大きな動物を飼ひ、小動物園を作りたいものです。

遊園の覆ひとしては、葭簀屋根は愉快なものではありません。出來るならば落葉樹を集め、自然の木蔭を用ひたいと思ひます。私は葛棚を作つて見ましたが、棚を作るのに入費が嵩みます。青桐などは實も葉も、成長の工合も面白いが、少し暑くなつた頃にまだ葉が茂らず、日向がほしい頃にまだ散らず、東京邊の氣候には少し遲い憾みがあります。櫻は之れに反して葉の出樣や散る時機が早過ぎます。何か植物學上から見ても面白く、日覆ひとしても適當なものがあつたらと思ひます。

かやうに申すと理想の遊園は、非常に金がかゝるやうですが、心掛け次第で費用を掛けすに作ることが出來ます。只今學習院の假校舍には池がありませんので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

度々拵らへて貰らひたいと申し出ましたが、假りの事とて運びませんでした。それで小使に一圓五十錢計りセメントを買つて來てもらひ、兒童と一緒に土を掘りそのセメントを塗つて作つた池に、目高もわけば、水草も茂つて、日々兒童等を喜ばせて居ります

そゞろありきて

飯田孝子

鉛色の黄昏が月山の麓から次第に山形盆地一ぱいに流れた。

赤松の梢の露はエメラルドのやうに輝き蜘蛛の巣のつゆはダイヤの頸飾のやうに美しく。夕立の名殘を止めて居る。

森の大きい木にはかなり風が吹いて居る。葛の葉は小魚の腹のやうに白くひら〳〵と裏返る。箱庭のやうに見える谷間の家から夕餉の烟が立ち登り湯の町には灯がともつた。浴衣着の男も女も湯の香の漲つて居る町を往來して居る。灯ともし頃の町は殊に賑しい。黄色の女郎花や紫の野菊が脊の高い孔雀草ともつれ合つて袂にふれる私は町はづれに向つた。田川の水の音を聞くために。湯上りの心地よさに。

私のすきな黒森山の中腹は桃畑になつて枝もたわゝに桃が熟して居る。襤褸に包まれた老媼が籠を脊負ひて桃を取つて居る恐らく明日の生活のためであらう。

私は其方に近づいた「あねさん東京から御出なしたか」これから話の緒は開かれた女は云ふ「自分の桃畑は非常に廣く種類も多く日本中で一番いゝのが出來る、夏の初めに袋をかぶせるのが世話なだけで自然にこんな立派なのが出來る、桃だけで家内一年中の生活が出來て有りがたい。皆神様のお蔭だそれだからどんな神様へでもきつと初物を上げて信心する其中で一番きくのが磐井さん（神社だ）あゝ此老媼のみだれた髮に最後の香油の滴りが落ちて幾年になる。其骨ばつた手は半生の勞苦を見せて居る。しかも何の不平もなく日々感謝して過す此質朴なる女を神は惠み給ふのであらう。

私は是等の惠を與へ給ふ神はたゞ一つの神だと云つた私は熱心に説いた。殆んど自分を忘るゝほどに……

裏の森に梟が鳴き出し螢が見え初めた私は女に別れて家路に向つた。彼女の上に神の恩寵の豐ならん事を祈りながら。

老樂師

安中花子

「伊太利のクレモナ島」其所の或る山に一本の若木があつた。雨に打たれ、日に燒かれ、風になぶられつゝも唯々「高く上り度い、高く上り度い」との望ゆえに總てを堪へ忍んで一日は一日と强く固く、一年は一年毎に遙けき理想の青空に近づいて行つた。

天地有情の春の宵、ほゝゑみ交す星と花を見る時には美しい大木は身内にみなぎる成長の歡喜に其梢をゆるがせては笑の小波を立てた。

「なほも高くいや高く。强くいよゝ强く。」これが大木の生涯の合ひ言葉であつたのだ。

或日見知らぬ荒くれ男が大木の幹に手を觸れた、そして木は曾て身に知らなんだ冷たさが總身に行き渡るのを覺えた。「倒れた」と氣附いた時、既に車に積み込まれて居つた。それから後の幾日幾月、誇りに誇つて居た美しの身に逃るゝ由もなく掛つて來た苦痛は數へも得ぬ程であつたが、一日遂に研きに研かれた大木の魂は、其當時知らぬ人とてもなきヴアイオリン作りの仕事場にと置かれた。

年老ひし其樂器師、彼の耳には一片の木片の中に潜んだ妙音が明かに響いたのだ。彼はやがて鳴り出づべき調を思うて、醉はされたやうに其木をいだいた。

遂に老樂器師が心血を注いだヴアイオリンは作り上げられた。「千代かけて歌へよかし」の祈をこめて彼はそれを世に出した。幾ばくもなくして其樂器師は亡き人の數に入つた。

彼が血汐の詰晶體のレモナ、ヴアイオリンは其後幾

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

千人かの心の友となつて、彼等の喜びと悲しみを荷ひ共に泣き、共に笑ふて、あまねく伊太利中を經めぐつたが、何かの理由から幾年かの後、歌の言葉も解せぬ而も朝に夕に酒に浸つて暮して居るならず者の手に落ちた。打ふし伊太利の風物を慕ふて其所に滯在して居つた英國の紳士—之も一向に音樂の趣味は持たぬ—があつて、其のヴアイオリンの木地の美しさに一寸心を引かれて、極く僅の酒料をやつてそれを故鄕へ持つて歸つたが、藏の隅に仕舞うた儘、此の人も亦やがて世を去つて行つた。

クレモナ島の若木が雨風に打たれて成長して、そして其の魂が美しい調を出すやうになつた迄にはどれ程の變化を經たか殆想像の及ばない事だ。

然し、このクレモナヴアイオリンが、如何して俺の手にはいつたか、それにも涙の物語が有る。」

老盲樂師は僅に言葉を切りました其の眼には怪しい露さへ宿つて來たので御座います。其の前に座つた青年、最前から下うつむいて、之も言葉は御座いませぬ浮世をよそにしての一小村、行きつめた所に横たはつた小山、それを登りつめた所に立てられたこのわびしい、いほりを訪ふ人とては、ほんとうに〳〵ミユーズの神の御姿を心から慕ふ者より外には無かつたので御座います。忽ちにして樂師の思は三十年の昔、イースト、ランカスターの森の邊りに返りました。

* * * * *

黑雲みなぎつた空は今にも雷雨に變りさう。ものすごい北風に枯葉はクル〳〵とやるせなげにうづ卷いて居ります。

彼の側に立つた娘をとめはたちの花のかんばせは青ざめて愛くるしい口元にはかすかなをののきが見えます。

「どうぞ、御持ちになつて下さい。」訴へる樣にをとめは嘆いて居りました。

「私の所有物で御座いますから、如何致しましても自分の勝手なのです。もはや二度とは御目に懸れぬ今から後の長い〳〵年月の間のかたみに遊ばして下さ

い。之を御覽になる時、このヴアイオリンが歌ふ時私の事をきつと〳〵御覺え下さるでせう。清い思ひの湧き出る泉の樣、其の度毎にあなたの御心にも若い月日の美しい思ひが返つて參りませう。短いこの一年の樂しかつた追憶は、みんなこの中にこもつて居ります。
私共の生涯の苦しかつた事や悲しかつた事は消え去つて、之に殘るのは、喜び丈け、喜び丈けで御座います。」
後はすゝり泣きの聲に埋もれて
若い音樂師の眼も涙に曇つて、總て四邊は眞暗になりました。遙か彼方の空からは、弱い雷の音が……………

＊　＊　＊　＊　＊　＊

老師は夢から醒めた樣、膝の上のヴアイオリンに見入りつゝ言葉を續けました。
「總ての藝術は苦痛から生れる。涙を知らぬ音樂者が何になる。
俺は人を失うて歌を得た。三十年の年月、俺が握つたのはこのヴアイオリンだ。幸福だつた日の誇も悲しい心の恨も怒もこれ、このヴアイオリンに打ち込んで俺は唯一心に、かなでゝ、かなでゝ、かなで續けた。
廣い世界に名高いこのクレモナヴアイオリンは俺の生涯の一番幸福だつた日の記念として三十年前の別離の日に贈られたのだ。
人を失うて歌を得た。俺の藝術は涙から生れたのだ總ての藝術は苦痛から生れる。涙の河を渡らずに美の眞境に行かれるものではない。苦痛を經ない藝術は贅澤者の慰事で命もなければ意義もない。
貴君は今、苦しいと言ひなさる。行先は總べて闇だと言ひなさる。然し、今漸く一人前になりかけて居るのだ、此の前俺の所へ弟子入に來なさつた時、貴君の彈き方を何と言つたか覺えて御爲でだらう。俺は貴君の樂を聽いて氣色が惡かつた、一つのよどみもなく曲が彈けた丈け、心の汲めて居ぬのが不愉快だつた。

然し今日から或は貴君も眞の音樂を解せる樣にならないとも限らぬ。

失望に根ざし涙に霑うて咲き出る花の美しさを未だ知らぬ貴君にとつては、なつかしい人に背かれた痛に狂ふ今日は勇ましい首出の日だ「馬鹿」と罵り「能無し」と笑うた俺の所へようこそ二度と返つて來なさつた。其の悲しみを根城にして、今日から戰つては見なさらぬか。さあ、もう一度、此の前の曲を彈いて見なさい。」

頭を擧げた若者のキッと結んだ口元には堅い決心が表れて居りました。惱ましげな眼にヂッと老師を見つめました。山上の庵に黄昏の色は迫つて參ります。

「先生、よくわかりました。御安心下さい。僕は犬死は致しません。必ず、苦痛に生きて見せます。

（マスタース、ヴイオリンより抄譯）

婦人嬌風會

各支部の方々に告ぐ

世の生存競爭が劇しくなるにつれ、婦人も亦職を求むる者が多くなりました。然し家庭を司る婦人が外に職業を求むる事は、容易に許しません。それ故本會は曩きに三越樓上に、第一回家庭製作品奬勵會を催し、各婦人の家庭に於ける製作品を集めて、之れが販路を開きましたが、幸に世の同情を得て、好結果を納めました。就てはこの會の永續を計る爲めに、基礎を築くに必要なる資金を寄附に頼らずして集めんとの計畫から、御大典に際し、奉祝用小國旗二百萬を一個二錢に配布して、祝賀の意を致すと共に、その利益を擧げて、同會の基本金と致したいのであります。團體へは一個一錢二厘に割引して渡します故、一個二錢に頒つた殘餘金は、其の地方の公共事業に御使ひ下さるやうに願ひます。どうぞ支部諸姉の御盡力を仰ぎます。事務所は左記に置いてありますから、御用の方は御遠慮なく御申越し下さい。

東京市芝區三田四國町二番地一號

家庭製作品奬勵會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

米國より

堀内清

大分アメリカ風に金が考へられる樣になつた。五弗は日本の三圓位の氣がする——實は十圓だが。二十五センツは日本の十錢位の氣がする——實は五十錢だが日本のものはこちらへ來ると五倍、——十倍する縮みのキモノに刺繍のした夏浴衣が五弗以上もする。五錢位の筆が二十錢する。運送費、給料、店、人、電燈、其他店を開くにかゝる金が皆それ〳〵一つ〳〵に加へられるのであらう。

或アメリカの品は日本で買ふ方が安い。それは卸價で日本へ出して、安い人を使つて比較的安い利益をとつて賣るのと、小賣人が多くの利をとり高く賣るのとは考へものである。

一年ミリオンの俸給を取つて居る人は此邊には至る所にあるらしい。二百萬圓なんかちと僕等には考へられぬ。小學校の教師が二十圓三十圓の俸給であるといふとアメリカ人はうそと思つてゐる。職工で一日四圓とるのはめづらしくない。マサチユーセッツ州では一週二十五弗以上の收入がないと結婚をゆるさないと聞いてた。生活の程度の差異の多いのに驚く。

音樂會をしてもあまり安い入場劵だと反つて人が來ない、高い價だと人が入る。

面白い話がある。それはシカゴの大な店での話。粗氈は此國では、最も人の自慢し喜ぶものである。

確におぼへないが、なにしろ非常に高い價（かりに五千弗とする）の粗氈があつた。（もつと高いと思つてゐる）ある室に飾つておくが買手がない。價を聞いても高くて買手がなかつた。主人が店員と相談して安く價をさげやうと云つた。

その時一人の男が「僕に一週日、時をくれたら賣つてみせる」といつた。その男はその粗氈を店のショーウインドーへ飾つた。そして定價を九千弗とつけた。翌日その粗氈は賣れた！。高くつて買ふ人がなかつたものが、もつと高くして賣れるとはさすがアメリカ人の賣手の上手なのと買手のアメリカ式なのにおどろく。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はたらき

再び文部省を訪ふて

教育課副課長

御卽位の御大典は近づく。社會各方面の人々が奉祝準備に熱中して居る。花柳社會は近年非常な不景氣であるさうな。それを回復するために御大典當日新橋柳橋の藝者七百餘人、古代人物に扮裝して、市中を練りあるき、二重橋で萬歳を三唱し、奉祝の意をあらはす計畫が出來たさうである。

我々矯風會は之を默視する事が出來やうか。私は斯る催しが社會殊に青年男女の教育に甚しい害あるを思ひ、まづ文部省を訪ふて當局の意見をたづねたのである。

七月末の燒けつくやうな日、此日文部省は檢定試驗で混雜であつたが、幸に田所普通學務局長に面會の榮を得る事が出來た。局長は左の如く語られた。

「藝者も國民の一人であるから、御大典に際して奉祝すべきは當然の事である。然し人目を引くやうな異樣な風をして、白晝市中を練りあるくと云ふ事は宜しからぬ事である。近頃社會の風紀は漸次改良せられつゝある。不景氣に伴うて、酒、藝者の使用の衰へた事は大に喜ぶべき事である。然るに御大典を奉祝すると稱して、社會の風紀を紊す事あつては陛下に對して申わけの無い事で、喜ぶべき御大典が却て悲しむべき事になるので、其方法について考へねばならぬ。よつて當局がひたすら矯風會に望む事は彼等が社會の風紀をみださぬ範圍内で、奉祝の意をあらはすやう、無智なる藝者組合を敎へる事である」と。

益富氏の關西行

記者

心せいて電話をかける時といふとかゝらぬ鐵道青年會の益富兄に、急に願たい用があつて、かけてもかけてもかゝらぬ、處が市會議員を初じめ區會議員或は商

業會議所議員等へ決議文に關する書狀發送に忙殺されて居つた七月十六日夕益富兄より電話で六時までは事務所に居る故に用件があらばとの事。丁度六時に、二十分前、直ちに電話にて同氏に神戸及京都へ應援の件を語る。同氏は廿日より北陸地方へ鐵道靑年會の爲に出張の筈故、非常に多忙にてとの事なりしかども、遂に懇願して十七日の夜行にて神戸行の約なる。卽ち神戸と京都に向つて電報にて集會の用意を通信し、委しき手紙を認めて中林姉を煩し、鐵道便に托す。兼て京都よりは是非とも新聞記者招待會を開きたければ廢娼の件につき委しき益富兄を送られんことをとの度度の通信のありし時、また神戸よりは同じく決議文運動に關して、先づ牧師敎役者諸君の御意見を聽取し、同時に贊助の下に一運動起したければ、同じく益富兄をとの依頼ありし際故、斯く同兄に御無理を願ふた次第である。

　神戸にては牧師及有志を神戸敎會に招待して、益富氏より種々御大典に關する我等のとるべき道につきて語られ、有益なる集會を得たるよし。

　京都にては富森姉及京都廓淸會支部長原田助先生等によりて準備されたる新聞記者招待會に出席されて充分に各自意見の交換ありたる後、來會者側より「御大典を迎ふる京都市としては、是非とも市民に如何にして御大典を奉祝なす事が、適當なる事なるかといふ點を自覺せしむる必要を認める。その方法の一として名士を聘して各方面から講演を乞ふ事は如何」其他新聞者の人々と懇談の結果、互に呼應して市民の廓淸を促がす事の大切なる點に努力すべしと談笑の內に實のある集會を了したるよし。

　益富氏が多忙なる事業を身にうけて、日も足らぬ此時に唯一日二夜の間に關西に於てかくまで活動されし事を深く感謝す。

　猶京都にて林大阪支部長應援として出席せられたることも深く感謝する處。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

筑前若松

三月六日午後七時半新中町バプテスト教會に於て女中會を開く原かめ子女中會を開きし理由につき述べられ、尾崎牧師は日常の心掛と題して熱心に面白く話され一同喜びに充たされて散會す。出席十六名。

△同月十二日濱の町三輪氏宅に於て役員會を開き將來の方針等に仕事を致したしと協議す。

△四月濱の町メソヂスト教會に於て母の會を開く、久門醫師は酒害につき學理上より種々なる實例を擧げ有益なる講演を試みられたり。

△六月二十六日午後二時より三內町聖公會に於て公開演說會を開く、原かめ子司會にて戶塚運平氏の講演あり要は(一)幾度耳にしても實行なくば無益なり、(二)如何にして善をなすべきや(三)高尚なる意味に於て進步する事、(四)目下の境遇を感謝する事、(五)子供を敎育するは母の大責任なる事、(六)平凡の道德をよく勤る事(七)家庭にあり自重しつゝ子供を敎育する事、(八)汝の熱心國家を救ふ事、隱れたる祈の大切なる事等にして集會者一同は大に感動せられたり。

△六月廿八日午後二時より原かめ子宅にて役員會を開き、決議文配布、京都に寄附する金、敎育課長より送附されし校內禁酒に關する件につき協議の結果會員中より適當の人を撰定して當市及矯風會のなき地方にも出來る丈運動する事となせり。

再び女中會を七月三十日開く、日本キリスト教會牧師夫人山田こう子氏は忠實なる僕の話につき懇に且つ簡易に御話あり一同喜びて散ず　(原　かめ子)

札幌

七月十五日辻會長宅にて役員會を開き記念日につき相談をなし且御大典に關する本部よりの通信に關し相談す

七月二十二日、渡邊常子女史の御來道を期し例年の記念日に代へ午後一時半より組合教會に於て演說會を開く、辻會長の司會にて渡邊女史は熱心に語らる、出席者六十名。(書記海老澤まさ子)

下ノ關

七月十二日午後二時より下關梅光女學院に於て例會を開き、廣津姉司會の下に讃美祈禱後、衣笠ますを女史の在米中の所感てふ談話あり、要は同姉が在米シヤトルに起りし市長選擧の際矯風會員が盛に運動の結果、存娼主義の前市長を排して我が主義者を選擧せし事實談なり。次に山崎敎諭の夏季に於ける衞生上の講話あり、種々實例を示され、右衣笠氏の演說と相まつて我等に多大の趣味を與へられたり、出席者四十餘名。

同廿日砂本氏方にて女中の會を開き、同姉の叮嚀なる談話ありたり。(書記黑木ます子)

長崎

去る五月會長ミセス、ツルーマンが米國に送りて後六月の例會にて役員の改選をなしたり、會長サヲ、エム、カウチ、副會長留川順記錄書記渡邊とせ、通信書記奧きく、會計片田江きん、傳道課長柏木はつ、母の課梅田はな、文書課長牧田みつ文書課長田中はる、交際課長佐多みつ。尙は來る八月十六日山室、益富兩先生を願ひ禁酒會と協同して講演會開催の準備中なり。(書記奧きく子)

決議文に就て

決議文を一度公表してから東京は勿論各地の新聞は種々なる見出しの下に此事に關する二段ぬき或は詳細なる各支部の動靜を注意を引く紙面に記載された、月刊雜誌會報其他の小さきものに至るもで多少に關せず此決議文につきそれ〴〵其主幹者の意見を揭載し或は女流名家の意

見を筆記したるもの又は其地の長官警察官等の意見を聽取したるもの等が掲げてあつた、支部からもそれ等の新聞雜誌等を本部にあてゝ送り越さるゝと同時に直接發行者より送付をうけたのも少なからずあつた。

書簡として個人の意見を述べたるものも受取たが大方は匿名になつて責任をもたぬ體裁のものも少なくはない、是等の内比較的多い同じ意見は「職業婦でも同じ陛下の赤子ではないか大御典を共に祝ふのに不思議はない寧ろ矯風會などが是等の婦人をのけものにするのは博愛主義を標榜するキリスト敎主義の團體のとるべき道ではあるまい」といふものであつた、然しこの理由はあまり考へあさい事である、勿論職業婦でも同じく赤子である、然し我等は其婦人逹が職業婦といふ職業の下に公會の席上に出づるを禁じて頂きたいといふ請願であつて個人として一人の婦人として千歲一遇の大典を奉祝するに何の異存のあるはづはないのであります、第一回には本部より支部に首相の祝辭及決議文の印刷せしものを各支部に送り第二回には東京府及市の御大典奉祝の方針を府知事に問ふて其意見を聽きそれ等に附加するに會頭の意見を書き添へたるものを印刷して發送す

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

婦人新報代金領收

（五月より八月迄）

一金七拾錢（四年十二月迄） 加藤いと
一金七拾錢（五年六月迄） 中村みほ
一金三十五錢（四年十月迄） 小畑實
一金七十錢（三年十二月迄） 井手睦代
一金十六圓五十錢（四年六月迄） 麴町婦風會
一金一圓 田澤泰助
一金五圓 岡田ほも
一金三十五錢（四年十一月迄） 岸たまき
一金二圓十六錢（三月四月分） 札幌婦風會
一金四圓六十六錢（四年六月迄） 前橋婦風會
一金六十錢（六月分十册） 山口ときわ
一金三十五錢（四年十一月迄） 鈴木はる
一同（同） 後藤ひさみ
一金七十錢（四年十二月迄） 後藤せい
一金廿四圓五十錢（二百十五號 二百十六號） 大阪婦風會
一金三十五錢（四年十二月迄） 荻原五百枝
一同（同） 小林きく
一金十八錢（六月迄） 山田つや
一金七十錢（四年十二月迄） 小宮たま
一金十二錢（五、六月分） 德江
一金十八錢（八月迄） 小久保みち
一金五十四錢（十二月迄） 山縣やす
一金三十六錢（九月迄） 前川げん
一金十八錢（九月迄） 落合でる
一同（六月迄） 佐々木よし
一金四十八錢（十二月迄） 東山きよ
一金十五圓四十錢（四年六月迄） 京都婦風會
一金十七圓（同上） 神戸婦風會
一金一圓（五年一月迄） 平林要
一金七十錢 安井ふさ
一金一圓五十錢（五年三月迄） 馬場千代
一金七十錢 松岡久枝
一金七十錢（五年六月迄） 朝比奈よれ
一同（同） 早川はな
一金七十錢（五年六月迄） 小川はる
一金五圓六十錢（四年六月迄） 赤坂婦風會
一金五圓五十四錢（同） 牛込婦風會
一金五圓六十錢（同） 小石川婦風會
一金一圓 加舍さと
一金七十錢 城戸順
一同 小池はつ
一同 杉森うめ
一同（五年四月迄） 小松はつゑ
一金七十錢（五年十一月迄） 鈴木はる
一金九圓八十一錢（六月迄） 相州婦風會
一金三十五錢（十二月迄） 伊藤泰治
一金三十五錢 宮地はつ
一金三十五錢（十二月迄） 押川しづ
一金七十錢（同） 西本うたよ
一同（五年六月迄） 山本すゑ
一金三十五錢（十二月迄） 皆川せき
一金三十五錢（五年八月迄） 下村きよ
一金七十錢（五年六月迄） 猪木ヨリ
一金十圓五錢（在米 十二月迄） 吉田かれ

△雜誌代は可成前金に願度候（係）

編輯室より

エー、エム

○八月の編輯室は至つて寂しいもの、會頭は丹後に御避暑とはいへ御遊說、御通信によれば峰山、舞鶴さては宮津と聞けば涼しげな地名ながら高齡の御身で日々の御活動恐れ入る次第、然し御自身として後の捨石ともならば幸とのやさしい御手簡

○峰山といへば同地の谷口夫人は新報愛讀者として上京の際編輯室に會頭を訪問され談たまく\避暑の話に及び遂に「せひとも御越し願度お宿は何とかいたします……」と此回の會頭峰山行となりしもの、新らしき支部が有力なる夫人連によつて新設されしを心より感謝。

○杉本藤井の兩姉は御家庭持の暑い日も都に泰然として暑氣何の事かと熱心に讀書或は家政につとめらる、尤も杉本姉は數日を輕井澤に遊ばれ在日本外人婦人矯風會の大會に出席されて「得る處多し」との御書簡をうく。

○小橋、安中姉、及自分は三年に亙りて每夏御殿場二ノ岡に數週の暑を避け富嶽の山麓にて聖書の講義を伺ふ事本年も同じ、日々の仕事にのみ忙はしく立ち働くものにとりては如何許り此旬日が靈的の淸き源泉となる事ならん。

○主なき編輯室に各地支部の姉妹等が休暇を利用して上京された折御立寄り下さる時不在な事は一番申譯ない事と思ふ留守を預る橫倉、山川の若い姉妹がいつも此事については心痛めて話されるどうぞ惡しからず

○秋風すでに立ち朝夕は九月となればはたすゞしき折再び愛姉方と共に主の前に結束して戰ふ事を喜ぶものであり、各地姉妹方の御健康を願ひ主義の爲にいやましに御盡し下さることを祈りて(高嶽の下二の岡にて)

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ヶ谷見附內)
電、番六二番
東洋內科醫院
院長 醫學士 高田畊安
電話ちがさき二番
南湖院
相州茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

ライオン齒磨

ライオン煉齒磨

旅行には是非共必要！

ライオン水齒磨

食後就寢前には不可缺！

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA